愛しのエレーヌ／ルルーとペリシエの事件簿（1983）

CIRCULEZ Y A RIEN A VORI

メディア 映画
ジャンル
製作国 フランス
色彩 Color
時間 90分
初公開日 1996/11/17
公開情報 アルシネテラン

【解説】

監督ルコントが、禿げあがったおでこがトレードマークの、フランスのW・アレン、M・ブラン主演で連作した「お騒がせ」シリーズの最終編。盗難事件の被害者で画廊の未亡人バーキンに一目惚れした刑事のブランが、相棒J・ヴィルレの制止も聞かず、彼女に付きまとう。そうとは知らぬバーキンは自らが関わる贋作輸出の企みに彼が気づいたのではないかと勘ぐって気が気ではないが……。ブランの“お呼びでない”猪突猛進のアプローチが事件の核心と未亡人のハートをついていく辺りの演出の呼吸はまずまず見事。ドタバタ趣味の「レ・ブロンゼ」シリーズの成功の後、いよいよ、そのエスプリに磨きをかけ始めていくルコントの、言わば、過渡期を確認する意味で彼のファンなら見落とせない作品だ。普段と違ってリラックスしたバーキンの演技も、彼女の優れたコメディエンヌとしての一面を伝えて印象深い。

【クレジット】

監督	パトリス・ルコント	Patrice Leconte
製作	クリスチャン・フェシュネール	Christian Fechner
脚本	パトリス・ルコント	Patrice Leconte
	マルタン・ベイロン	
撮影	ロベール・フレース	Robert Fraisse
出演	ジェーン・バーキン	Jane Birkin
	ミシェル・ブラン	Michel Blanc
	ジャック・ヴィルレ	Jacques Villeret
	ミシェル・ロブ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.